

事業所名

愛の木放課後等デイサービスuki

支援プログラム

作成日

令和7 年

3月

1日

法人（事業所）理念	「将来、働く大人になるために」									
支援方針	卒業後の生活を見据え、必要となってくるであろう身辺自立や人との関わり方などに重点をおく。 関係機関との連携 保護者支援									
営業時間	9 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無		あり						
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 身辺自立：食事・着替え・トイレなどの生活の基本的な動作を身につけられる様支援を行う。 基本的な生活習慣の確立：十分な睡眠、バランスの取れた食事、生活リズムを整える。 身だしなみ：清潔感のある服装や手洗い・歯磨き習慣を身に着ける。 体調管理の支援：体調の変化を認識し適切に伝えられるようになる。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 体力維持・向上：室内での軽運動や戸外活動を通して基礎体力をつける。徐々に持久力も高めていく。 感覚統合の促進：過敏に対しては安心できる環境を整えながら少しずつ刺激に慣れる練習を行う。鈍感に対しては適切な感覚刺激を取り入れることで感覚の発達を促す。 将来的に必要な動作の獲得：持つ・押す・並べる・分けるなどの基礎動作の訓練。将来的に仕事の繋がる様なスキルを身につける。手先の巧緻性向上にも繋げる。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 指示理解の強化：一つ一つの指示を確実に理解し実行できる様練習を行う。ことばや視覚支援を適宜用いる。 作業の手順化：視覚支援やチェックリストを活動し物事の流れを順番に理解しながら、また見通しを持って行動出来る様にする。 注意・集中力の向上：短時間の活動から始め徐々に持続時間を伸ばす。適度な休憩を挟んだり環境を整える。 ルーチンの確立：活動前の準備から終了後の片付けまでの流れを習慣化するなど、安定してスムーズに活動を進められる様支援を行う。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 意思表示の練習：ジェスチャーや絵カードを活用し自分の気持ちや要望を伝える練習を行う。音声表出が難しくてもスムーズに意思表示出来る様支援を行う。 簡単な会話のやり取り：「終わりました」「手伝ってください」などの伝え方を練習。将来的に作業などの進捗を適切に報告出来ることに繋げる。 聞く力を育てる：相手の話を最後まで聞く習慣を身につける。視線、聞き、姿勢など適切な聞き方を学び円滑なコミュニケーションに繋げる。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ルールの理解：挨拶、順番や時間を守るなどの基本的なルールや基礎的なマナーを学ぶ。 集団での活動：他の人と一緒に活動する経験を積み、協力する重要性やコミュニケーション能力、チームワーク力を養う。 トラブル時の対応力向上：困ったときに他者に助けを求める方法を学ぶ。 報酬の概念を理解：活動終了後に達成感や報酬を得る経験をすることで努力と報酬の関係を理解出来る様支援する。 								
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でのコミュニケーション支援：子どもの成長を促す為の環境づくりや適切な関わり方についてアドバイスを行う。 就労に向けた家族のサポート：就労に向けたステップを家族と共有し目標設定をサポートす。将来を見据えた家庭での生活支援や習慣作りの提案を行う。 情報提供：家族が安心して支援を継続出来る様、定期的に支援状況や進捗を共有しサポートを行う。 			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 就労に向けた準備・進捗共有：定期的に家族と進捗を共有。将来に向けた具体的なステップを確認し、家庭で出来る支援を考え実践する。 就労に向けて家庭内での取り組みを提案：日常的に実践的な取り組みを行い生活での自立を促進する。 					
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会との連携強化：特に長期休暇中の社会参加活動を通して地域との交流を深める。社会性や人間関係を学ぶ。 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 研修や勉強会の実施：定期的に行い専門性を高める。 ケース検討・振り返りの強化：職員間で事例を共有。効果的な対応策を日々考えていく。 地域や専門機関との連携強化：福祉・教育・企業など様々な分野と連携することで最新の支援方法を学び実践に活かせる様努める。 					
主な行事等	職場見学・体験 企業見学 買い物体験 調理活動 公共交通機関の利用体験 戸外活動 プール活動 製作活動 感覚遊びなど イベント：夏祭り、クリスマス会、餅つき、初詣、花見など									